

1 総会に関する事項

令和3.6.14 午後2時から上野精養軒において第85回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- | | |
|------|-----------------------|
| 審議事項 | 第1号議案 不動産売却承認の件 |
| | 第2号議案 令和2年度事業報告承認の件 |
| | 第3号議案 令和2年度決算承認の件 |
| | 第4号議案 平成3年度事業計画書報告の件 |
| | 第5号議案 平成3年度収支予算書等報告の件 |
| | 第6号議案 会員人事報告の件 |
| 報告事項 | 令和3年度称号授与予定者報告の件 |
| | 改組 新 第7回日展巡回展開催報告の件 他 |

2 理事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 3. 5. 10	第1回	(書面による決議) 1. 定時総会開催日の変更承認の件 2. 第8回日展開催要綱承認の件
令和 3. 5. 27	第2回	(書面による決議) 1. 令和2年度・事業報告及び決算承認の件 2. 令和3年度 特別会員称号授与予定者承認の件 3. 第8回日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件 4. 各委員会（日展ニュース・出版・広報）の新委員承認の件 5. 会友資格喪失者承認の件
令和 3. 7. 19	第3回	1. 副理事長の選定の件 2. 日展運営委員会 委員補充承認の件 3. 日展規則の一部変更承認の件 4. 第8回日展審査員・係承認の件 5. その他 コロナ禍における第8回日展関連事項の対応等の件 係会・審査員総会について 報告事項 理事長、副理事長の職務執行状況について 第8回日展 事務日程について 退会者、準会員辞退者及び会友辞退者について 改組 新 第7回日展巡回展入場者数について 他
令和 3. 10. 28	第4回	1. 日展運営委員会 委員補充承認の件 2. 第8回日展巡回展基本選定作品承認の件 3. 第8回日展巡回展陳列指導者の選考承認の件 報告事項 日展新会館の売却について 退会者及び会友辞退者について

令和 4. 3. 24	第5回	<p>1. 第9回日展 関連事項承認の件</p> <p>第9回日展 会期・覧時間及び入場料金について</p> <p>第9回日展 出品手数料について</p> <p>オープニング・パーティーについて</p> <p>各科出品者懇親会について</p> <p>出陳者内覧会について</p> <p>授賞式について</p> <p>開会式・テープカット及び閉会パーティーについて</p> <p>会期中のイベントについて</p> <p>第9回日展 巡回日程(案)について</p> <p>2. 会員人事承認の件</p> <p>3. 準会員人事承認の件</p> <p>4. 会友人事承認の件</p> <p>5. 令和4年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)等承認の件</p> <p>6. 定時総会日時及び予定議案承認の件</p> <p>報告事項</p> <p>顧問の大臣賞会議等への参加について</p> <p>和光「第6回 美の魁け一日展の現代一」展について</p> <p>日展新会館売却の進捗状況について</p>
-------------	-----	---

3 監事会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 3. 5. 24	第1回	1. 令和2年度事業報告及び決算承認の件

4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
		※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、委員が集まる会議は行わず、各科毎に委員5名の相互連絡により、審査員候補者を選考（7月9日までに選考結果を事務局に提出）

5 係(展覧会)会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 3. 8. 5	第 1 回	※令和3年度係会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各科係主任及び代表者1名による「係代表者打合せ会」として開催 1. 展示室 各科割り振りに関する件 2. 入場料金に関する件 3. 特別入場券販売促進に関する件 4. 「日展目録」表紙承認の件 5. 入場券および招待状等印刷物承認の件 6. 各科展覧会打合せ会承認の件 7. 係アシスト承認の件 8. 出品者懇親会に関する件 9. 事務日程に関する件 10. 各科展覧会の記録に関する件 11. その他

6 審査員総会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
		※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止

7 大臣賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 3.10.28	第 1 回	1. 内閣総理大臣賞の件 2. 文部科学大臣賞の件

8 東京都知事賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 3.10.28	第 1 回	1. 東京都知事賞の件

9 日展会員賞選考委員会に関する事項

月 日	回 数	主 な 審 議 事 項
令和 3.10.28	第 1 回	1. 日展会員賞の件

10 委員会等に関する事項

委員の就退任に関する事項

令和 3. 7. 19 令和3年度第3回理事会において下記委員会の委員を補充した。

〔日展運営委員会〕

佐藤 哲

令和 3. 10. 28 令和3年度第4回理事会において下記委員会の委員を補充した。

〔日展運営委員会〕

春山 文典

諮問委員会

令和3年度における会合は1回開催

(第1回) 令3. 12. 8

主な審議事項

1. 委員の互選により議長・副議長を選出した。(第1回)
2. 第8回日展の応募状況・審査結果等について、事務局より委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)
3. ポストコロナを見据えた日展のあり方について、事務局より現況等を委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)

日展運営委員会

令和3年度における会合は3回開催

(第1回) 令3. 9. 9・(第2回) 令3. 12. 8・(第3回) 令4. 3. 7

※令和3年4月26日に開催を予定していた会合はコロナ禍のため中止

主な審議事項

1. 日展新会館の売却関連資料(媒介契約について、売却手法について、不動産鑑定評価取得について、売却スケジュールについて)の配布、説明があり、それぞれ確認を行った。(第1回)
2. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う第8回日展開催に向けての対応策(内覧会の開催方法・出品者懇親会開催の可否・会場当番の人員)について協議、検討した。(第1回)
3. 第8回日展巡回展陳列指導について、意見交換を行った。(第1回)
4. 顧問の大臣賞等選考会議への参加について協議、検討した。(第2回)
5. 令和4年度日展事業予算案について協議、検討した。(第3回)
6. 日展規則の一部変更(案)について協議、検討した。(第3回)
7. 第9回日展開催要綱(案)について確認した。(第3回)

日展ニュース委員会

令和3年度における会合は5回開催

(第1回) 令3. 6. 11・(第2回) 7. 8・(第3回) 8. 31・(第4回) 11. 12・(第5回) 12. 13

※第1回および第3回はコロナ禍のため主任のみの出席。事前に他の委員から書面(メール・FAX)や電話などで校正案や意見を集め、それをもとに進めた。

主な審議事項

1. ニュース178号の寄稿文(各科地方在住入選者1名 計5名/「作家人生-私の仕事-」シリーズ5名/新会員のコメント)の校正を行った。(第1回)
2. ニュース178号の掲載内容を検討、決定した。(第1回)
3. 新旧委員の合同会議を開催し、経過報告、引継ぎ及び今年度の編集方針を協議した。(第2回)
4. ニュース178号の校正刷り(ゲラ)のコピーを配布し、進捗状況について報告、掲載内容を検討した。(第2回)
5. ニュース179号の掲載内容を検討した。(第2回)
6. ニュース180号の座談会出席者について決定した。(第2回)
7. ニュース179号の寄稿文(各科ベテラン審査員・新審査員3名 計15名/「作家人生-私の仕事-」シリーズ 等)の校正を行った。(第3回)
8. ニュース179号の掲載内容を検討、決定した。(第3回)
9. ニュース180号の掲載内容を検討し、座談会テーマ、構成等を検討した。(第3回)
10. ニュース180号の座談会の進行方法や質問事項を検討した。(第4回)
11. ニュース180号の座談会を開催した。(第4回)
12. ニュース180号(座談会)の校正を行った。(第5回)
13. ニュース180号の寄稿文(各科新入選者3~6名 計15名)等の校正を行い、「教えて、作家さん！」の人選を行った。(第5回)
14. ニュース181号の掲載内容を検討、協議した。(第5回)

出版委員会

令和3年度における会合は1回開催

(第1回) 令3. 7. 8

主な審議事項

1. 新旧委員の引継ぎを行った。(第1回)
2. 第8回日展刊行物の内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。(第1回)
3. カラー写真のサイズを変更することを承認した。(第1回)
4. 書の図録の重量軽減について検討、印刷用紙を薄くすることを決定した。(第1回)
5. 今後の出版事業の方向性について意見交換を行った。(第1回)

広報委員会

令和3年度における会合は4回開催

(第1回) 令3. 4. 8・(第2回) 5. 26※・(第3回) 7. 8・(第4回) 令4. 3. 7

※第2回はコロナ禍のため書面にて開催

主な審議事項

1. 第8回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回・第2回)

2. 日展作家インタビューの人選、内容について検討した。(第1回)
3. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回・第3回)
4. 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等について検討した。(第1回・第2回)
5. 新旧委員の合同会議を開催、前年度広報活動報告の後、第8回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第3回)
6. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第3回)
7. 第8回日展のイベント企画案について検討した。(第2回・第3回)
8. 第8回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第2回・第3回)
9. 第8回日展の映像の撮影、編集について検討した。(第3回)
10. 令和3年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容および実績について報告、問題点を検討した。(第4回)
11. 令和4年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第4回)

アートプロジェクト

令和3年度における会合は1回開催

(第1回) 令3. 4. 22

主な審議事項

1. 令和3年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」)を検討した。(第1回)

アートプロジェクトの令和4年5月9日現在のメンバー(オブザーバー含む)は下記の通り。

[アートプロジェクト]

岩田 壮平	亀山 祐介	川田 恭子	能島 浜江	米谷 清和	大友 義博
桑原 富一	佐藤 祐治	田中 里奈	田辺 知治	星川 登美子	中島 健太
山田 朝彦	寺山 三佳	中原 篤徳	野原 昌代	廣川 政和	山崎 茂樹
吉岡 徹	相武 常雄	青木 宏暁	上原 利丸	林 香君	福富 信
小島 泰明	高木 聖雨	井上 清雅	植松 龍祥	師田 久子	

11 「日本美術展覧会」の開催

第8回日本美術展覧会

1. 会 期 令和3年10月29日より11月21日まで 21日間

〔休 館 日〕 毎週火曜日

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「日展の日」(入場無料)は中止

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

() 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
応募点数	351 (-1)	1,604 (-59)	88 (+1)	612 (-33)	8,518 (+87)	11,173 (-5)
入選点数	151 (-3)	625 (+30)	64 (-2)	443 (-6)	1,083 (+14)	2,366 (+33)
新入選点数	12 (+1)	67 (-16)	3 (-3)	34 (-4)	209 (+20)	325 (-2)

新入選点数は入選点数に含む。

4. 陳列点数

() 前年度比

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書	合計
入 選	151 (-3)	625 (+30)	64 (-2)	443 (-6)	1,083 (+14)	2,366 (+33)
無 鑑 査	131 (±0)	120 (-3)	153 (-3)	126 (-3)	141 (-5)	671 (-14)
計	282 (-3)	745 (+27)	217 (-5)	569 (-9)	1,224 (+9)	3,037 (+19)

無鑑査＝顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 奥田小由女

◎印 審査主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
審査員	潮江 宏三 安田 晴美	篠 雅廣 富田 章	土方 明司 守屋 正彦	秋元 雄史 樋田豊次郎	板倉 聖哲 島谷 弘幸
	◎福田 千恵 村居 正之 坂本 幸重 橋本 弘安 平尾 秀明 池内 璋美 石田 育代 岩田 壮平 加藤 智 中出 信昭 森 美樹 諸星 美喜 岡本 明久 佐藤和歌子 谷川 将樹 寺島 節朗 林 秀樹	◎湯山 俊久 小灘 一紀 町田 博文 井上 武 伊藤 晴子 小川 尊一 大友 義博 大谷 喜男 北本 雅己 西田 伸一 石田 宗之 小牧 幹 児玉 健二 平野 行雄 福井 欧夏 前原 喜好 一の瀬 洋	◎能島 征二 山本 眞輔 江里 敏明 寒河江淳二 磯尾 隆司 緒方 信行 柏原 花子 川崎 義昭 寺山 三佳 堀内 秀雄 間島 博徳 山下 清 吉居 寛子 清島 浩徳 鈴木紹陶武 鈴木 撤男 中口 一也	◎三田村有純 吉賀 将夫 相武 常雄 叶 道夫 河野 榮一 干田 浩 上原 利丸 小林 祥晃 佐藤 好昭 田中 照一 待田 和宏 森田 清照 十二町 薫 谷口 勇三 南 正剛 向井 弘子 向井伊保江	黒田 賢一 ◎高木 聖雨 真神 巍堂 高木 厚人 植松 龍祥 近藤 浩乎 関 吾心 内藤 富卿 森田 彦七 山本 大悦 石坂 雅彦 倉橋 奇艸 澤田 虚遊 寺坂 昌三 歳森 芳樹 森上 光月 吉澤 石琥

○印 係主任

	第1科 日本画	第2科 洋画	第3科 彫刻	第4科 工芸美術	第5科 書
係	坂本 幸重 ○橋本 弘安 平尾 秀明 池内 璋美 石田 育代 岩田 壮平 加藤 智 中出 信昭 森 美樹 諸星 美喜 岡本 明久 佐藤和歌子 谷川 将樹 寺島 節朗 林 秀樹	町田 博文 井上 武 伊藤 晴子 ○小川 尊一 大友 義博 大谷 喜男 北本 雅己 西田 伸一 石田 宗之 小牧 幹 児玉 健二 平野 行雄 福井 欧夏 前原 喜好 一の瀬 洋	○江里 敏明 寒河江淳二 磯尾 隆司 緒方 信行 柏原 花子 川崎 義昭 寺山 三佳 堀内 秀雄 間島 博徳 山下 清 吉居 寛子 清島 浩徳 鈴木紹陶武 鈴木 撤男 中口 一也	○相武 常雄 叶 道夫 河野 榮一 干田 浩 上原 利丸 小林 祥晃 佐藤 好昭 田中 照一 待田 和宏 森田 清照 十二町 薫 谷口 勇三 南 正剛 向井 弘子 向井伊保江	○真神 巍堂 高木 厚人 植松 龍祥 近藤 浩乎 関 吾心 内藤 富卿 森田 彦七 山本 大悦 石坂 雅彦 倉橋 奇艸 澤田 虚遊 寺坂 昌三 歳森 芳樹 森上 光月 吉澤 石琥

6. 授 賞

大臣賞	第1科	内閣総理大臣賞	松崎 十朗	海 へ
	第2科	内閣総理大臣賞	北本 雅己	DANCING
	第3科	文部科学大臣賞	工藤 潔	duet
	第4科	文部科学大臣賞	大樋 年雄	神の断崖 2021
	第5科	文部科学大臣賞	日比野博鳳	さくら

東京都知事賞	第1科	森 美樹	めづる	
	第2科	大友 義博	木もれ陽の森で	
	第3科	堀 龍太郎	待 て	
	第4科	尾長 保	記憶の渚 飾皿	
	第5科	植松 龍祥	王僧孺詩	

日展会員賞	第1科	岩田 壮平	epoch '20-'21	
	第2科	福田あさこ	瞬 く	
	第3科	槇野 仁一	清 晨	
	第4科	田中 照一	煌めく	
	第5科	尾西 正成	珊瑚枝枝	

特 選

第1科	青野 圭花	初夏の色	猪熊 佳子	天空の森へ
	小熊香奈子	ひととき	笠川 武史	白 日
	榊原孔美子	Aluhi 8:49	棚町 宜弘	斜 影
	福岡 正臣	回 帰	前川 和之	道なき時代
	村山 春菜	地球クズ集め	山田 まほ	月山弥陀ヶ原
第2科	内海 洋江	こもれび	大木 基彰	微睡む
	大山 富夫	せりな嬢の肖像	春日 裕次	動 魂
	久保 尚子	the day	小林 理恵	横浜夕景31・花火
	齋藤 均	息吹き	永山 秀男	静謐・牧者の杖
	二宮 弘一	牛骨と卓上	早崎 和代	音 彩
第3科	菊川 敏	風	窪 信一郎	光を求めて
	境野 里香	たかい たかい	田村 晴江	ゆく夏〜くる夏にエール
	西沢明比兒	COVID-19	町野 紗恭	場 所
	丸田多賀美	畑仕事を終えて	最上 健	ヨルノムコウ
第4科	井上絵美子	水游舞	織田 定男	創生の記憶
	司辻 健司	茜さす	菊池 房江	大地のスーベニア
	貴田 洋子	津軽・稔り輝く	郡 和子	大 地
	小畠 泰明	乱 流	西 緑	明日に繋ぐ
	平野 英史	Hymnal (讃美歌の)	山崎 豊	青のsymphony
第5科	岩井 秀樹	定家 月のうた	大田 鵬雨	明星上
	鹿倉 碩齋	多 聞	河合 鷹山	春日野
	時崎 五鳳	李商隠詩	豊原 睦子	朝川渡る
	西村 大輔	微 風	馬場 紀行	白川の
	松村 博峰	蘭亭集詩より	真鍋 井蛙	變則通

7. 入場者数 合計 69,201人 (21日間)

() 前年度比

有 料	入場者数(人)	無 料	入場者数(人)
一 般 券	6,596 (+2,823)	招 待 券	26,808 (+4,937)
学 生 券	692 (+349)	美 術 学 生 券	490 (+135)
トワイライトチケット (一 般)	1,912 (+714)	小中学生無料鑑賞券	4,763 (+2,160)
トワイライトチケット (学 生)	240 (+104)	資 格 証	12,668 (+3,224)
一般券 (場外売)	333 (+103)	優 待 証	544 (+164)
学生券 (場外売)	27 (+16)	美術家連盟・評論家連盟	360 (+32)
一 般 団 体 券	35 (-1,674)		
学生団体[高・大]券	490 (+401)		
一 般 前 売 券	2,444 (+1,695)		
学生前売[高・大]券	61 (+46)		
特 別 入 場 券	10,084 (+1,935)		
新聞販売店用チケット	654 (-68)		
計	23,568 (+6,444)	計	45,633 (+10,652)

月日	曜日	入場者数(人)	月日	曜日	入場者数(人)
10/28	木	617	11/10	水	3,002
10/29	金	3,934	11/11	木	3,551
10/30	土	2,465	11/12	金	3,459
10/31	日	2,030	11/13	土	4,105
11/1	月	1,632	11/14	日	4,381
11/2	火	休館日	11/15	月	3,301
11/3	水・祝	3,559	11/16	火	休館日
11/4	木	2,614	11/17	水	3,639
11/5	金	2,160	11/18	木	3,442
11/6	土	2,751	11/19	金	3,348
11/7	日	2,997	11/20	土	4,711
11/8	月	2,340	11/21	日	5,163
11/9	火	休館日	計		69,201

※10/28は会員、準会員及び今回展特選受賞者限定の出陳者内覧会

巡回日展

第8回展分を3会場で開催。

	開催地	開催期間	会 場	開 催 者	入場者数(人)
第 8 回 展	京 都	R 3. 12. 18～R 4. 1. 15	京 都 市 京 セ ラ 美 術 館	日展京都展実行委員会	20,790
	名 古 屋	R 4. 1. 26～ 2. 13	愛知県美術館ギャラリー	中 部 日 展 会	19,501
	大 阪	2. 26～ 3. 21	大 阪 市 立 美 術 館	日展大阪展実行委員会	29,498

12 美術に関する講演会及び講習会の開催

講演会・シンポジウム・映像による作品解説等

専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や、各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説する。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、定員50名（整理券配布）

10月30日 (土)	(日本画) 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	映像による作品解説「自作を語る」 今年度受賞者（大臣賞・都知事賞・会員賞・特選） 映像による作品解説「日本画」 今年度審査員
11月3日 (水・祝)	(洋画) 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	座談会「審査主任と特選受賞者による座談会」 (司会)大友義博 座談会「審査員と新入選者による座談会」 (司会)西房浩二
11月6日 (土)	(彫刻) 午後 2:00～4:00 ※途中10分休憩	シンポジウム「今、彫刻を作る意味を考える」 勝野眞言 櫻井真理 野村光雄 前芝武史 坂本 健 脇園奈津江 (司会)中原篤徳 映像による作品解説「彫刻」 上田久利 小野啓亘 上田ふみ (司会)中原篤徳
11月13日 (土)	(工芸美術) 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	映像による作品解説「工芸美術」 今年度審査員 シンポジウム「特選作品を語る」 今年度審査員 特選受賞者
11月20日 (土)	(書) 午後 1:30～3:30 ※途中10分休憩	シンポジウムによる討論会「日展の書」 伊藤一翔 牛窪梧十 永守蒼穹 横山煌平 綿引滔天 (司会)真神巍堂 映像による作品解説「書」 遠藤 彊 近藤浩乎 吉澤大淳 (司会)真神巍堂

※参加人数 約250名（5日間 座談会2回、シンポジウムによる討論会3回、作品解説5回）

らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などをはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と一歩近づいて、展覧会を楽しむ。

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止

ミニ解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止

13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

わくわくワークショップ

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室 各科陳列会場

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通常の1/2の募集人数

		指 導 者				
		日本画	洋 画	彫 刻	工芸美術	書
10月31日 (日)	午前 10:30～	能島浜江 岩田壮平	天野富美男 桑原富一 西山松生 小川満章			井上清雅 河西樸堂 吉澤劉石
	午後 2:00～			野原昌代 吉岡 徹 中村優子 原田治展 廣川政和 堀尾秀樹 鈴木紹陶武 (サポート) 山田朝彦	青木宏暲 木谷陽子 川口 満 武田 司 繁昌孝二 山口和子	
11月7日 (日)	午前 10:30～	亀山祐介 能島浜江	井上 武 菊池元男 前原喜好 星川登美子 佐藤祐治 稲葉徹應			大澤城山 遠藤 彊 寺岡棠舟
	午後 2:00～			野原昌代 中原篤徳 吉岡 徹 堀内有子 小関良太 安田陽子 中口一也 (サポート) 山田朝彦 山崎茂樹	林 香君 武腰冬樹 福富 信 南雲龍比古 村越郁夫 村田真樹	
11月14日 (日)	午前 10:30～	川田恭子 古澤洋子 藤島大千	田辺知治 栗原高光 倉林愛二郎 久保博孝 中島健太			植松龍祥 野田杏苑 岩村節廬
	午後 2:00～			野原昌代 中原篤徳 吉岡 徹 寺山三佳 鈴木徹男 (サポート) 山田朝彦	古瀬政弘 相武常雄 手銭吾郎 小島泰明 平野英史	

◎総参加人数 58 組 162 名

わくわくワークショップ—特別編—「手紙を書こう！」

日展を鑑賞して、好きな作品の作家に手紙を書く。会場内のポストに投函すると、後日作家から返信が届く。鑑賞して思ったことを「言葉」で伝える。

対象 小学生～高校生

◎ 投函数 465 通

夏休み1日ART体験「第17回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—という日展の芸術文化普及活動。制作した作品は公式サイトで紹介した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、作品展は中止。
※共同制作の作品は、この他、日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

場所 日展会館・イベントスペース 他

		指導作家	時間	参加人数	内 容
7月24日 (土)	彫刻	野原昌代 山崎茂樹 中原篤徳 寺山三佳 吉岡 徹 (サポート) 安田陽子 廣川政和 (オブザーバー) 山田朝彦	13:30 ～ 16:00	11組 18名	<ul style="list-style-type: none"> ・『未知の生き物』 —昆虫?動物?想像してみよう!— ●彫刻に関する基礎知識を学ぶ。(13:30～13:45) ●(子供)木の土台とアルミ線、紙粘土による制作 台座の上にアルミ線でイメージした形の心棒を作る。 (13:45～14:00) ●心棒に紙粘土で肉付けしていく。(14:00～14:40) ●イメージに合った土台を組み合わせ、紙粘土の人物や動物、イメージを形にしたものをジョイントさせる。 (14:40～15:00) ●共同制作。(15:00～15:30) ●講評。作品撮影。片付け。(15:30～16:00) ●(中学生・保護者)テラコッタで頭像を作る。 作品は、乾燥させた後、焼成する。
7月25日 (日)	工芸美術 (陶)	林 香君 南雲龍比古 村田真樹 福富 信 (サポート) 村山恵子 高橋和則 村越郁夫	13:30 ～ 16:00	12組 21名	<ul style="list-style-type: none"> ・『レンガ粘土でルームプレートを作ろう』 ●作家のデモンストレーションで陶芸に関する基礎知識を学ぶ。(冒頭 20分) ●レンガ用の粘土を使用。レンガ粘土の特徴と基本的な技法を学びながら造形。参考作品を見て、出来上がりをイメージ。 ●各自用意してきたデザイン画を元に制作。(約 50分) ●共同制作の、「オリンピックのエンブレムにメッセージをこめて」のそれぞれのパーツにメッセージを彫る。 (約 20分) ●講評、仕上げについての説明、片付け。(20分) ●作品は、(後日)乾燥後、焼成。担当作家による仕上げ、最終チェック。作品撮影。

		指導作家	時間	参加人数	内 容
8月2日 (月)	洋画	田辺知治 佐藤祐治 茅野吉孝 田中里奈	13:30 ～ 16:00	14組 28名	<ul style="list-style-type: none"> ・『夏を描く』(油彩) ●油彩画の特徴 油絵具の使い方を学ぶ。(13:30～13:45) ●作家のデモンストレーション (13:45～14:05) ●描きたいモチーフを選ぶ。F4のキャンバスを使い、静物(夏野菜や夏の花)を木炭でスケッチ。(14:05～14:25) ●油彩で着色。(14:25～15:10) ●油彩で0号のキャンバスボードに夏の出来事や思い出を描く。(15:10～15:40) ●描きあがった作品にサインを入れる。 ●額に入れてみる。講評。作品撮影。片付け。(15:40～16:00)
8月3日 (火)	書	井上清雅 師田久子 綿引滔天 植松龍祥 (サポート) 尾花太虚 角田大壤 斎藤真澄 滑田燿齋 松浦龍坡 (監督) 高木聖雨 永守蒼穹	13:30 ～ 16:00	16組 29名	<ul style="list-style-type: none"> ・『毛筆文字に親しもう!』 ●書に関する基礎知識を学ぶ。グループ分けし、それぞれの工程を時間差で体験する。 ●卷子用に好きな文字を書く。色々な書体で書いてみる。(約40分) ●自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。(約20分) ●卷子のパーツを取り付け仕上げる。(約15分) ●オリジナル切手用に一文字の作品を仕上げる。(約20分) ●講評。作品撮影。片付け。(約20分) ●後日(→つくった作品を切手に)
8月8日 (日)	日本画	岩田壮平 亀山祐介 川田恭子 能島浜江 米谷清和 (サポート) 青鹿未奈 木村真光	13:30 ～ 16:00	15組 28名	<ul style="list-style-type: none"> ・『金銀屏風に描いて絵師になろう』 ●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法を学ぶ。(13:30～13:45) ●2種類の屏風から好きな色を選ぶ。制作の工程を説明。作家のデモンストレーション (13:45～14:00) ●各自用意してきたデザイン画を元に、岩絵具などで描いた後、乾かす。(14:00～15:15) ●共同制作のSMサイズの麻紙ボードに『こんな生き物がいたらいいな』と思う生きものを描く。(15:15～15:45) ●講評。作品撮影。片付け。(15:45～16:00) ○自然の色の美しさと調和を実感してもらう。 ○実際に岩絵具と膠を指で溶き、描いてみる。独特の質感を楽しむ。

実施内容(共同制作) ※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル	
日本画	『こんな生き物がいたらいいな』 ●担当作家が描いたバックに、各自用意したデザイン画を元に描いた麻紙ボードを貼っていく。
洋画	『みんなの夏』 ●作家が描いた背景に、夏の出来事や思い出を描いた0号のキャンバスボードを貼っていく。
彫刻	『ちいさな友だち』 ●作家の用意した背景のパネルを見て、海や川、森にいる”ちいさな友だち”を紙粘土で作り、取り付ける。
工芸美術 (陶)	『オリンピックのエンブレムにメッセージをこめて』 ●それぞれのパーツにメッセージを彫る。乾燥後焼成。焼成後、再び組み合わせる。
書	『文字のオリンピック』 ●ハガキ大の半紙に好きな文字を書き、切手シートにする(後日→パブリックスペース陳列用)

◎総参加人数 68組 124名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通常の1/2の募集人数

14 研究冊子及び図書の刊行

出版企画実施内容（令和3年度中に刊行または印刷）

第8回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁
- [発行日] 令和3年10月29日
- [発行部数] 3,000部
- [定 価] 100円 [税込]
- [内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載
- [表 紙] 土屋禮一
- [製 作] 株式会社新協

第8回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）154頁 590点掲載
- [発行日] 令和3年10月29日
- [発行部数] 2,300部
- [定 価] 3,000円 [税込]
- [内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録
作家名・作品題名の英訳（巻末）、諸資料掲載
別冊資料：作家本人による作品解説・釈文（書）掲載 40頁
- [表 紙] 渡辺信喜・藤森兼明・山田朝彦・中井貞次・黒田賢一（出品作・部分）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第8回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）64頁 282点掲載
- [発行日] 令和3年11月3日
- [発行部数] 1,400部
- [定 価] 3,200円 [税込]
- [内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
- [表 紙] 渡辺信喜（出品作）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第8回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）150頁 745点掲載
- [発行日] 令和3年11月3日
- [発行部数] 2,800部
- [定 価] 3,200円 [税込]
- [内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
- [表 紙] 藤森兼明（出品作）
- [製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第8回日展図録（彫刻）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）60頁 217点掲載
[発行日] 令和3年11月3日
[発行部数] 600部
[定 価] 3,200円 [税込]
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 山田朝彦（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第8回日展図録（工芸美術）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）120頁 569点掲載
[発行日] 令和3年11月3日
[発行部数] 1,400部
[定 価] 3,200円 [税込]
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 中井貞次（出品作）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

第8回日展図録（書）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）216頁 カラー180点、モノクロ1,044点、合計1,224点掲載
[発行日] 令和3年11月3日
[発行部数] 3,300部
[定 価] 3,200円 [税込]
[内 容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録、作家名・作品題名（読み仮名・英訳付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載
[表 紙] 黒田賢一（出品作）
[製 作] 富士美術印刷株式会社

絵はがき（オフセット印刷）

- [判 型] はがきサイズ（10.5cm×15cm）
[定 価] 400枚単位—24,000円 [税込]（売店販売定価1枚—100円 [税込]）
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社、半七写真印刷工業株式会社、富士美術印刷株式会社

カラー写真

- [判 型] キャビネサイズ（12.7cm×17.8cm）
[定 価] 10枚単位—6,000円 [税込]（売店販売定価1枚—400円 [税込]）
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

日展ニュースの発行

第178号	令和3年7月27日発行	発行部数	21,000部
第179号	令和3年9月28日発行	発行部数	35,000部
第180号	令和4年1月30日発行	発行部数	21,000部

15 美術に関する研究及び調査

日展会館・日展新会館企画実施内容

[会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

(展覧会)

名 称	展 示 内 容	開 催 期 間	会 場
第14回プラチナアート大賞展 2021	絵画作品	令和3年 5月13日～5月17日	日展会館
第1回スケッチ研究会作品展	絵画作品	令和4年 3月11日～3月13日	日展会館

(会議・研究会・教室等 使用団体)

一般社団法人 新極美術協会
芥子園研究会
公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会
新日春会
新日本美術協会
スケッチ研究会
白日会
蒔絵の会

(令和3年度会館スペース貸出収入) *金額は税込

合計 743,870円 前年度比 +135,820円